

文書管理ソフト（CLINILAN PV pro）導入による法改正対応と業務への影響

◎亀甲 美佳¹⁾、瀧井 詩織¹⁾、毛利 明樹¹⁾、高木 奈穂¹⁾、津田 昌和¹⁾
社会医療法人 青洲会 福岡青洲会病院¹⁾

【はじめに】当検査室には各種検査マニュアルや精度管理台帳など多くの文書が存在し、紙での保管を基本的な運用としてきた。しかし、2018年12月1日に施行された医療法および臨床検査技師法の改正により各種作業書・日誌等の作成が義務化されたことで、当検査室が抱える文書はさらに膨大となっている。これを管理する方法として検査部門システムの文書管理ソフト CLINILAN PV pro（株式会社エーアンドティー）に注目し、2020年に導入が実現した。その結果をここに報告する。

【目的】文書管理ソフト（CLINILAN PV pro）導入による法改正後の対応と業務への影響を利用者の目線から分析・評価し、今後の運用につなげる。

【方法】

1) ファイル管理機能の分析：文書管理ソフトの文書保管機能と文書検索機能を評価する。さらに、文書管理ソフトを用いることでどれくらいの紙の消費を削減できているか算出する。

2) ワークフロー機能の分析：導入前後の回覧方法を比

較し、どう変化したか考察する。

3) 課内満足度調査：ソフトを利用する検査技師に対し満足度調査を行い、利用者の意見をまとめて分析する。

【結果】

1) ファイル管理により、膨大な文書の一元管理が可能となった。さらにペーパーレス化が進み、紙とスペースの消費が減った。

2) ワークフローの使用により回覧の進行状況を把握できるようになったことに加え、勤務状況に関わらず回覧が可能となり、従来の手渡しの手間がなくなった。

3) 課内満足度調査では、高い満足度評価を得た。

【考察】文書管理ソフト導入により、法改正に対応した文書管理が可能となった。さらに、多くの文書のペーパーレス化、効率的な文書検索、スムーズな回覧が可能となり、業務改善にもつながった。今後もこのソフトを活用して文書管理を効率よく、確実に行うことで、検査室の品質を保ちたい。

連絡先：092-939-0010